



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横浜旭いこいの里 新築工事	階数	地上3F
建設地	横浜市旭区西川島町118番10他20筆	構造	RC造
用途地域	指定なし	平均居住人員	220 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 竣工	評価の実施日	2023年1月26日
敷地面積	8,751 m ²	作成者	湯谷
建築面積	3,460 m ²	確認日	2023年1月27日
延床面積	8,935 m ²	確認者	湯谷



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.0 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	標準計算 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.8	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.4	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.7
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.3	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.5	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		
建物の配置、形状等について、日影の影響等を最小限にするよう努めた。周辺環境に調和した色彩計画、敷地内通路を設け風の通り道を確保、外構には十分な緑地を配置等の総合的な検討をし計画した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
昼光率: 居室3.2%、1作業単位及び1ベット単位での照明制御が可能。 バルコニーの設置、開口部にカーテンを設置することでグレア対策とした。	居室面積10㎡以上及び天井高さ2.5m確保した。 壁長さ比: 共用部分: 0.28、住居部分0.21とし空間の形状・自由さを確保した。	周辺環境に調和するように計画した。植栽により良好な景観を形成。 空地率: 63.93%、水平投影面積率: 27%、地表面対策面積率: 51%。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BEIm=0.81 中庭を配置し、採光・通風などの自然エネルギーを利用	節水コマ、省水型機器を用いている。 ODP=0	緑被率20%以上を確保。 適切な駐車スペースを確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)横浜旭いこいの里 新築
工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 19 %削減



一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

対象外

受付日

2023年1月30日

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPI_m=0.76

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩昼光率 居室3.2%、1作業単位及びベッド単位にて照明制御可能

⑪自然換気有効開口面積が居室床面積の1/20以上

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.1

(仮称)横浜旭いこの里 新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質			-		-			2.9
Q1 室内環境			0.40		-			2.8
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			-
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40			-
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30			-
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20			-
2 温熱環境		2.0	0.35	2.0	1.00			2.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50			-
1 室温	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.38	3.0	0.57			-
2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	3.0	0.43			-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-			-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	1.0	0.20	1.0	0.20			-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	1.0	0.30	1.0	0.30			-
3 光・視環境		3.1	0.25	3.8	1.00			3.8
3.1 屋光利用		1.8	0.30	4.2	0.30			-
1 屋光率	快適・働きやすさ ⑩光環境	1.0	0.60	5.0	0.60			-
2 方位別開口	快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	-	-			-
3 屋光利用設備	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.40			-
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30			-
1 屋光制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	1.00	3.0	1.00			-
3.3 照度	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.15	3.0	0.15			-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	5.0	0.25	5.0	0.25			-
4 空気質環境		3.1	0.25	2.7	1.00			2.7
4.1 発生源対策		3.0	0.50	3.0	0.63			-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	1.00	3.0	1.00			-
4.2 換気		2.0	0.30	2.3	0.38			-
1 換気量	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	-	-	3.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	1.0	0.50	1.0	0.33			-
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	-	-	-			-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	5.0	1.00	-	-			-
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.4
1 機能性		3.0	0.40	4.4	1.00			4.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	5.0	1.00			-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	-	-			-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.5	0.40			-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	-	4.0	0.50			-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	-	-			-
3 内装計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	1.00	3.0	0.50			-
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			-
1 耐震性	防 災 ⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能	防 災 ⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数	防 災 ⑯部材・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防 災 ⑯部材・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防 災 ⑯部材・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防 災 ⑯部材・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防 災 ⑯部材・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防 災 ⑯部材・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備	防 災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備	防 災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 電気設備	防 災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法	防 災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備	防 災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性		2.7	0.30	2.6	1.00			2.6
3.1 空間のゆとり		2.2	0.30	2.2	0.50			-
1 階高のゆとり		1.0	0.60	1.0	0.60			-
2 空間の形状・自由さ		4.0	0.40	4.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-			-
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.1

(仮称)横浜旭いこいの里 新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート			実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目			<非住宅> <集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	-	2.7	
1 生物環境の保全と創出			地域・まちづくり		⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮			地域・まちづくり		⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮						3.0	0.30	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮・快適性の向上			地域・まちづくり		⑫地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			快適・働きやすさ		⑬敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	-	3.0	
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	-	3.3	
1 建物外皮の熱負荷抑制			省エネルギー性能		①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用			省エネルギー性能		②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化			省エネルギー性能		③設備システムの高効率化	2.9	0.50	-	-	2.9	
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0	
			集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	-	
			4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	
			4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	
			集合住宅の評価			-	-	-	-	-	
			4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	
			4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	-	2.5	
1 水資源保護					3.4	0.20	-	-	-	3.4	
1.1 節水					4.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	-	-	
			1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-	-	
			2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					2.4	0.60	-	-	-	2.4	
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.10	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					1.0	0.20	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.10	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					3.0	0.20	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					2.3	0.20	-	-	-	2.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					2.0	0.70	-	-	-	-	
			1 消火剤		-	-	-	-	-	-	
			2 発泡剤(断熱材等)		1.0	0.50	-	-	-	-	
			3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	-	3.1	
1 地球温暖化への配慮					3.6	0.33	-	-	-	3.6	
2 地域環境への配慮					2.9	0.33	-	-	-	2.9	
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					2.7	0.25	-	-	-	-	
			1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-	-	
			2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	
			3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	
			4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33	-	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	-	-	
			1 騒音		3.0	1.00	-	-	-	-	
			2 振動		-	-	-	-	-	-	
			3 悪臭		-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					3.0	0.40	-	-	-	-	
			1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-	-	
			2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	-	-	
			3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制					3.0	0.20	-	-	-	-	
			1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	-	-	
			2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-	-	

上記以外の重点項目					-	-	-	-	-
<事務用途>					-	-	-	-	-
知的生産性向上への取組			快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-
<住宅用途>					-	-	-	-	-
健康と安心					-	-	-	-	-
1	化学汚染物質の対策		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-	-
2	適切な換気計画		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-	-
3	結露・カビ対策		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-	-
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑭防犯対策	-	-	-	-	-